



Title	北海道大学附属図書館報「榆蔭」
Citation	, 127, 1-40
Issue Date	2007-11-30
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/66295">http://hdl.handle.net/2115/66295</a>
Type	periodical
Additional Information	There are other files related to this item in HUSCAP. Check the above URL.
File Information	yuin127-3.pdf (その3 : お知らせ)



[Instructions for use](#)

## お知らせ

## 来館日誌

(平成19年7月～10月)

No.	来館者	来館日	時間	人数	備考
1	米国アマースト大学図書館職員 および同大学教授	8月6日(月)	14:00-15:00	2	北大沿革資料 室見学
2	国立情報学研究所教授 他	9月27日(木)	10:00-11:00	3	
3	市立函館高校生徒	9月27日(木)	13:40-15:40	60	
4	旭川大学高等学校生徒	9月28日(金)	10:00-11:00	8	
5	札幌大谷大学学生	10月5日(金)	11:15-11:45	15	
6	札幌大学学生および引率教員	10月30日(火)	11:30-12:00	16	北方資料室見学
	計			104	



札幌大学学生

## マークエステル画集『日本神話』展示会・講演会を 北分館で開催，そして，マークエステル氏来館

北分館では，平成19年6月11日(月)から7月20日(金)まで，「マークエステル画集『日本神話』展示会 ～ フランス人現代画家が『古事記』に見た色彩曼荼羅の世界～」を開催しました。

今回の企画は，フランス現代画家として有名なマークエステル氏の画集『日本神話』が，マークエステル札幌後援会から北分館に寄贈されたのを記念して，開催しました。

マークエステル氏 (Marcestel Squarciafichi) は，1943年パリ生まれのフランス人画家。初来日は1970年で，親日の文化人としても知られております。全世界で数々の個展を開かれ，2006年には画集『日本神話』を出版されました。同画集は，マークエステル氏がこれまで日本神話を題材に発表してきた作品を集大成したものです。



展示会ポスター



マークエステル展示会

今回の展示会では，寄贈された画集『日本神話』，および，同画集中の絵画パネル11点（内訳は以下のとおり）を2階カウンター前に展示しました。同時に，本学附属図書館所蔵の本居宣長著『古事記伝』（1844年永楽屋出版）や，北分館に所蔵する古事記・日本神話関係図書も展示しました。

たくさんの学生・教職員・一般市民の方々が見学に来られ，関連する図書も多く利用されました。

### 【展示絵画パネル一覧】

1. 「淤能碁呂島に注がれた愛の光」 (画集『日本神話』57頁)
2. 「八尋殿の周りで輪舞」 (画集『日本神話』61頁)
3. 「伊邪那岐は息子の火之迦具土神の首を切り落とす」 (画集『日本神話』73頁)

4. 「天照大御神，月読命，須佐之男命がお生まれになった」 (画集『日本神話』103頁)
5. 「須佐之男命は姉に別れを告げるため天に昇る」 (画集『日本神話』111頁)
6. 「天照大御神を取り巻く天つ神たちは脅えた」 (画集『日本神話』114頁)
7. 「八俣の大蛇の死」 (画集『日本神話』161頁)
8. 「因幡の白兔に大国主が助言する」 (画集『日本神話』173頁)
9. 「天若日子は高い声で鳴く雉の鳴女を射殺す」 (画集『日本神話』212頁)
10. 「猿田比古神と天之宇受売命の愛」 (画集『日本神話』244頁)
11. 「弟は狩人，兄は漁師」 (画集『日本神話』260頁)

7月13日(金)には、遠友学舎において「『日本神話』に秘められた日本文化の魅力」と題して講演会を開催しました。

講師には、中島裕子氏(マークエステル札幌後援会・事務局長、(財)北海道大学クラーク記念財団・事務主任)を迎え、20名を超える参加を得ました。中島氏は、『日本神話』の翻訳・校正などに深く携わった方であり、今回の講演では、マークエステル氏の紹介・本の完成までの過程・日本文化の魅力など興味深いお話がありました。



マークエステル講演会



マークエステル氏と大平前分館長

今回の企画には、多くの方々のご協力をいただきました。

特に、お忙しい中、講演をしていただいた中島裕子氏、マークエステル札幌後援会の残間昭男氏、そして、前分館長の太平具彦先生には、多大なご支援をいただきました。ここに心より感謝を表します。

また、7月23日(月)には、急遽マークエステル氏が北分館を訪問されることになり、今回の展示内容を見学されました。氏によると、大学図書館でのこのような展示会が開催されることは初めてのことで、是非とも見学したいとの理由で来館されたとのことでした。



関係文献を読むマークエステル氏

## 北海道大学附属図書館講演会を開催しました

平成19年10月12日(金)北海道大学附属図書館大会議室において、道内国公立大学等の図書館職員を対象に平成19年度北海道大学附属図書館講演会が開催され、本学から40名、道内18機関から25名、合計65名の参加がありました。

前半は東北大学附属図書館総務課長の加藤信哉氏による「大学図書館の新たな戦略ーハイブリッド・ライブラリーの行方」と題して基調講演がおこなわれました。インターネットや検索エンジンの急速な普及により大学図書館を取り巻く情勢が大きく変化するという状況の中で、大学図書館に強く求められているハイブリッド・ライブラリーの実現のための戦略について講演していただきました。国内外の最新の動向を紹介しながらの講演は、これからの利用者サービスのあり方を考える上で大きな刺激となりました。

講演後、指定討論者である小樽商科大学の鹿内一郎氏と札幌学院大学の京谷正博氏から自館の実情や取り組みが紹介され、加藤講師から様々な助言がされました。

後半はパネル・ディスカッションがおこなわれ、本学附属図書館のハイブリッド・ライブラリーへの取り組みについて3人のパネラーから実践例が紹介されました。堀越邦恵情報システム課システム管理担当からは「機関リポジトリの実例」と題して、北海道大学学術成果コレクションHUSCAPの概要および広報活動とコンテンツ収集について報告がありました。中村陽情報管理課雑誌受入担当からは「電子情報資源管理ーERMS・リンクリゾルバー」と題して、本学が国立情報学研究所の実証実験プロジェクトに参加している電子情報管理システムERMSと、電子情報資源を有効に活用するためのシステムであるリンクリゾルバについて報告がありました。磯本善男情報サービス課利用支援担当からは「図書館活用のための情報リテラシー教育支援」と題して、利用者を対象としておこなっている情報探索入門やライブラリーセミナー、各種説明会・講習会について報告がありました。

パネル・ディスカッションにおいては、コーディネーターである加藤氏とパネラーとの間で質疑応答や意見交換がおこなわれ、最後に、加藤氏は「図書館は豊かなインターネットの世界に対して開かれたものでなければならない」とまとめられました。

パネル・ディスカッションに続いて、会場参加者からの質疑応答もおこなわれ、盛況のうちに終了しました。



講演者：加藤信哉氏



指定討論者：京谷正博氏

## 2007北海道大学オープンキャンパスが実施されました

今年も「北海道大学オープンキャンパス」（昨年度までは「オープンユニバーシティ」）が実施されました。平成19年8月5日（日）には、高校生だけでなく、その保護者の方、高等学校教員、及び一般市民の方も参加可能な「自由参加プログラム」が各部局等で実施され、附属図書館でも館内ツアーとデモンストレーションを実施しました。

附属図書館本館では、「大学の図書館を見てみよう！」と題し、館内ツアーをしながら、図書館のいろいろなサービスについて説明しました。また、北方資料室の蝦夷地古地図やアイヌ風俗画、北大の沿革資料などの貴重な資料を見学してもらいました。

北分館では、約15分の館内ツアーを実施しました。多数のDVDを備えている2階の「マルチメディア公開利用室」や、広々としたスペースで学習できる4階の「情報化対応学習支援フロア」などを案内しました。

### 【本館】

- ◆ 内容 「大学の図書館を見てみよう！」
  - ・ 館内ツアー （開架閲覧室→北方資料室→参考閲覧室）
  - ・ 北大蔵書検索のデモンストレーションと体験
- ◆ 時間 1回目 11:00-11:45, 2回目 13:00-13:45, 3回目 15:00-15:45
- ◆ 配布資料 「図書館利用案内 ～はじめての方へ～」 「OPACの使い方」
- ◆ 参加者数 38名（各回合計）

### 【北分館】

- ◆ 内容 館内ツアー （2階→マルチメディア公開利用室→3階→4階）
- ◆ 時間 11:00から17:00まで、各00分と30分に約15分の館内ツアー実施
- ◆ 配布資料 「北分館パンフレット」
- ◆ 参加者数 11名（各回合計）

## 平成19年度附属図書館インターンシップ（図書館実習）について

附属図書館では、他大学からの図書館実習の要請を受けてインターンシップ（図書館実習）を実施しております。平成19年度は8月1日（水）から9日（木）（土日を除く）までの7日間、北海道武蔵女子短期大学6名、藤女子大学1名計7名の実習生を受け入れ実施しました。

図書館実習は、実際の図書館業務を体験してもらい職業意識を高めて頂くことを目的とし、短期間であってもほぼ全業務を体験できるよう実習プログラムを作成しております。附属図書館（本館・北分館）の各担当が図書館資料の処理の流れに沿い連携して実習を行っています。実習を終えた学生からは「講義で学べない図書館業務や貴重な経験ができる」との感想が多く寄せられました。